

広報

第84号



日大山形

令和8年4月27日発行

Well-being!

自分にとっての幸せを



応援練習

令和八年度入学式

「為せば成る」 ～努力を重ねる三年間を～

春の温かさを感じ、桜の花が咲く四月七日に、令和八年度入学式が挙行された。校長の「入学許可」の言葉から、新入生三〇六名の高校生活が始まった。吹奏楽部の演奏に合わせたの堂々とした入場行進は、その始まりに相応しく、この先の明るい道のりが見られるようだった。「為せば成る」三年間になるよう願う。

校長式辞

草木が芽吹き、眠っていた生命が躍動し始める今日の佳き日に、令和八年度第六九回日本大学山形高等学校入学式を挙行するにあたり、日本大学学長大貫進一郎先生の代理として、日本大学薬学部部長篠葉繁紀先生、ご来賓として、桜華同窓会会長鹿野高志様、保護者会長長井上智博様をはじめ、多くのご来賓ならびに保護者の皆様のご出席を賜り、教職員を代表して心より御礼申し上げます。ただ今、入学を許可された三〇六名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、九年前におよぶ義務教育課程を修了し、本日、晴れて日本大学山形高等学校の生徒となりました。一日も早く本校での生活に慣れ、笑顔あふれる楽しい学校を、私たちとともに築き上げていきましょう。



校長式辞 花里 昌昭 校長

されました。今年で一三八年の歴史と伝統を持つ日本大学は、文系・理系・医歯薬系など、一六学部八六学科を有する我が国最大級の総合大学として発展を続けています。全国の社長の出身大学では、日本大学が一五年連続で第一位となっており、その実力は、まさに日本の屋台骨を支えている「私学の雄」だと言っても過言ではありません。皆さんをお迎えする本校は、昭和三十三年に、山形学園山形第一高等学校として開校し、四年後の昭和三十七年に日本大学の正付属高校となりました。それ以来、日本大学の教育理念である「自主創造」のもと「自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく」ことができる逞しい生徒を育成するため、本校の教育方針である「知育・徳育・体育」の実践に努めているところ です。

卒業生は四万人を超え、県内はもとより国内外の各方面で活躍しており、皆さんの活躍を見守り、応援して下さる多くの卒業生がいることを胸に刻み、充実した高校生活を送ってください。二年後の令和一〇年には、本校創設七〇周年を迎えます。現在本校では皆さんが二年生になる令和九年度から使用できるように、新校舎の建築を進めております。その間、校舎間の移動などご不便をおかけすることも多いかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。さて、アメリカの第三五代大統領ジョン・F・ケネディ氏が、日本で最も尊敬する政治家として上杉鷹山の名を挙げたことはよく知られています。米沢藩主であった鷹山の「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」という言葉は、日本のみならず海外の指導者たちの心さえも動かしてきたのです。皆さんは、高校生活の中で、迷いが生じた



学長祝辞 篠葉 繁紀 薬学部長

り、思うような結果が出なかつたりすることがあるかもしれません。そのような時こそ、「やり遂げよう」と努力すれば、必ず実現できる。無理だと思つてあきらめてしまえば、決して実現しない」といふ鷹山が伝えたかっただけであらう言葉に刻み、これからも努力を重ねていってください。思うようにいかなかつた経験の中にこそ、自分を大きく成長させるヒントが隠れているはずではな、努力の過程を大切に、その積み重ねを続けていけば、おのずと結果は、後からついてくるのではないでしようか。また、本校の校歌は「ポイズ・ビー・アンビシャス」の言葉で始まります。これは、札幌農学校の初代教頭であつたクラーク博士が学生たちに残した有名な言葉で、「少年よ、大志を抱け」と訳されています。若者たちが情熱をもつて大きな志を成し遂げることを願つて贈られた言葉です。この言葉には、皆さんが常に高い目標を掲げ、何事にも積極的に取り組み、自ら進むべき道を切り拓いていってほしいという願いが込められています。

高校三年間は、長い人生から見れば短い時間かもしれませんが、しかし、よりよく生きていくための在り方や生き方の礎が築かれる、最も大切な時期でもあります。皆さんは、豊かな人格を形成するために、本校で確かな一歩を踏み出さなければなりません。新しい友との出会いが始まり、体育祭や桜華祭、修学旅行をはじめとする様々な行事も待っています。どうか思う存分、日大山形での生活を楽しみ、互いの絆を深めてください。次に、保護者の皆様に申し上げます。私たち教職員一同、皆さまのお子さまのご入学を心よりお心から歓迎いたします。そして、生徒一人ひとりの可能性を伸ばすため、全力を尽くしてまいります。保護者の皆様におかれましては、本校の教育方針にご理解を賜り、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。特に近年は、SNS等の急速な発展により利便性が高まる一方で、子どもたちの周囲には有害な情報があふれています。利用の仕方によっては、他人を傷つけてしまふことにもなりかねません。そのようなことが起こらないよう、大人の見守りが欠かせません。卒業までの三年間、学校とご家庭とが足並みをそろえ、お子さまの成長のために協力し合う関係を築いて



新入生代表宣誓 浅野 目心晴

いくことが、何より大切であると考えております。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。三〇六名の新入生の皆さん、改めてご入学おめでとうございます。今日という日の感激を胸に刻み、品格ある本校の生徒として、大いに躍進されることを願い、私の式辞といたします。令和八年四月七日 日本大学山形高等学校 校長 花里 昌昭

令和八年度 第一学年担当教員

主任	松浦 正治 (国)
副主任	斎藤 陽平 (理)
一組	矢作 直樹 (数)
二組	青木 大和 (保体)
三組	小山 湧作 (数)
四組	前田 恭子 (英)
五組	渡邊 元氣 (英)
六組	伊藤 遼 (英)
七組	野川 秀則 (国)
八組	齋藤 陽平 (理)
九組	齋藤 陽平 (理)
◆学年所属教員	
首藤 裕二 (地)	
野藤 敏広 (地)	
平野 礼子 (国)	
菊地 晶子 (地)	
林 憲彦 (数)	
渡辺 憲彦 (数)	
沼澤 和哉 (理)	
吉田 貴行 (理)	
原田 文香 (保体)	
東島 明香 (保体)	
中尾 章乃 (英)	
西尾 章乃 (英)	

令和七年度卒業式

令和八年三月一日、本校第一体育館にて、第六六回卒業式が挙行された。おだやかな春の陽光が降り注ぐ中、三二八名が学び舎を巣立った。卒業生答辞や卒業生から保護者への感謝の言葉も情感に溢れ、感動的な卒業式となった。

在学中に各方面で顕著な成績をあげ、各賞を受賞した生徒の氏名をここに掲載する。

一、学長賞(学業部門)

奥山 杏音(陵南中)

二、学長賞(スポーツ部門)

布施飛雄真(山形三中)
松浦晴尚朗(日出学園中)
清水 駿允(山形三中)

三、優秀賞(学術・文化部)

吹奏楽部
ダンスドリル部
(スポーツ部門)
クイン・エリー(白馬中)
齋藤 優気(金井中)
大内 葵(山形六中)

四、優等賞

白戸 繪音(山大附中)
白崎 悠人(山形一中)
後藤 結奈(天童四中)
鈴木 那奈(山大附中)
伊藤 遙輝(山形七中)



卒業生代表答辞 今 風乃(山形三中)

五、皆勤賞 九名

六、精勤賞 四六名

七、学校長賞 九名

八、大久保・矢野賞
(1) 功労賞
生徒会会長
今 風乃(山形三中)
総務員

田頭 璃穂(山大附中)
齋藤 優気(金井中)
渡辺 真紘(山形六中)
後藤倫太郎(山大附中)

細越 千寛(高島中)

村山結衣香(中山中)

渡辺優実子(山大附中)

佐竹あかり(陵南中)

木村 朱里(宮川中)

代議員副議長
高橋里々彩(山形七中)

代議員副議長
後藤 結奈(天童四中)

学級委員長
石川 滂(志村五中)

H R 運営委員長
白戸 繪音(山大附中)

週番委員長
松田 真幸(山形四中)

保体委員長
井田 心(陵東中)

環境整備委員長
沼澤 颯(舟形中)

図書委員長
横倉 沙耶(山形四中)

応援委員長・團長
仲野 健太(天童一中)



学長祝辞 大貫進一郎 学長

鈴木 日南(東根一中)

笹原 舞桜(山形三中)

阿部 嵩大(山形六中)

平岡 夏希(赤湯中)

小鹿 湊人(山形四中)

梅津陽南望(山形五中)

高橋 寛人(河北中)

伊藤 花音(真室川中)

(3) 体育賞
野球部
岩下 瑛斗(仁賀保中)

バドミントン部
今野 紡(山形五中)

陸上競技部
長岡 修也(山大附中)

富樫 美結(赤湯中)

男子バスケットボール部
國島 優樹(山形六中)

ボクシング部
齋藤 優気(金井中)

水泳部
海野 翼(陵南中)
スキー部
阿部 桃佳(福原中)
ソフトテニス部
長澤 理生(天童四中)
小松 莉子(山形五中)
卓球部
石神 英司(山形三中)
男子テニス部
伊藤 啓太(山形二中)
男子ハンドボール部
渡邊隆之介(山大附中)
男子テニス部
大内 茜(山形六中)
女子ハンドボール部
西塚 絢乃(尾花沢中)
ラグビーフットボール部
土屋 怜央(山形十中)
柔道部
奥山 健太(葉山中)
フィットネス愛好会
金井 尚大(山形六中)

(4) 文化賞
吹奏楽部
安藤 瑛章(陵南中)

英会話部
伊藤 愛(陵東中)

写真部
齋藤 琳(山大附中)

生物部
峯田 楓(山形一中)

演劇部
庄司みずほ(山形三中)

放送部
木村 朱里(宮川中)

J R C 部
五十嵐遥珀(尾花沢中)

音楽部
依田 凌汰(高島中)

ダンスドリル部
細谷百々葉(高橋中)

漫画部
布川 夢華(山形六中)

九、栄光のメダル
(1) 金メダル
布施飛雄真(山形三中)
松浦晴尚朗(日出学園中)
清水 駿允(山形三中)

(2) 銀メダル
男子テニス部
女子テニス部
ボクシング部
スキー部

(3) 銅メダル
野球部
水泳部
女子ハンドボール部

(4) 文化賞メダル
吹奏楽部
ダンスドリル部
写真部
放送部

十、学外賞
日本私立中学高等学校校連
合会会長賞
生徒会会長
今 風乃(山形三中)
日本学生野球協会表彰
野球部
岩下 瑛斗(仁賀保中)

部活動報告

全国・国際大会

ボクシング部

・国民スポーツ大会

【少年男子】

ピン級

古沢 蓮音(中山中) 出場

ライトフライ級

中谷丈一郎(山形六中) 出場

齋藤 優気(金井中) 出場

ライトウェルター級

清水 駿允(山形三中) 出場

・全国高等学校ボクシング選抜大会

【男子】

ピン級

古沢 蓮音(中山中) 三位

ライトフライ級

中谷丈一郎(山形六中) ベスト8

【女子】

フライ級

石沢 里沙(山形七中) ベスト8

スキー部

・全国高等学校スキー大会

【男子】アルペン

大回転

松浦晴尚朗(日出学園中) 六位

新井 蔵人(西果鴨中) 出場

清野 冬真(鶴岡市朝中) 出場

回転

松浦晴尚朗(日出学園中) 三位

設楽優太郎(米沢六中) 出場

藤田 舜輝(大淵中) 出場

【男子】スペシャルジャンプ

布施飛雄真(山形三中) 出場

【女子】アルペン

大回転

クニエーリ(白馬中) 出場

遠藤 妃莉(岩沼中) 出場

難波 優花(鶴岡市朝中) 出場

鈴口 真央(白川郷学園) 出場

回転

森 理葉(下里中) 八位

難波 優花(鶴岡市朝中) 出場

坂田 結(南大谷中) 出場

鈴口 真央(白川郷学園) 出場

・国民スポーツ大会冬季大会

【少年男子】アルペン

女子テニス部

・国民スポーツ大会

少年女子個人(ダブルス)

大内 茜(山形六中) 出場

大内 葵(山形六中) 出場

水泳部

・全国JOCジュニアオリンピック

一〇〇Mバタフライ

如月 美月(陵南中) 三位

一〇〇Mバタフライ

如月 美月(陵南中) 二位

吹奏楽部

・東日本学校吹奏楽大会

銅賞

ダンスドリル部

・全国高等学校ダンスドリル冬季大会

SONG FORM部門S&I編成 出場

運動部

野球部

・秋季東北地区高等学校野球山形県大会

優勝

・秋季東北地区高等学校野球大会

ベスト8

・山形県高等学校バスケットボール選手権大会

ベスト8

・山形県高等学校新人体育大会

ベスト8

サッカー部

・全国高校サッカー選手権大会山形県大会

ベスト8

・山形県高等学校新人体育大会

三位

剣道部

・山形県高等学校新人体育大会

二位

・全国高等学校剣道選抜大会山形県予選会

二位

・全日本都道府県対抗剣道優勝大会山形県予選会

二位

バドミントン部

・山形県高等学校新人体育大会

【男子】団体 出場

【男子】個人シングルス

奥村 礼仁(山形四中) 出場

東海林 龍(山形三中) 出場

【男子】個人ダブルス

奥村 礼仁・東海林 龍 出場

・ジャワ杯山形県高等学校選手権大会

【男子】団体 出場

陸上競技部

・山形県高等学校新人体育大会

走り幅跳び

渡邊 維央(大石田中) 四位

・東北高等学校新人体育大会

走り幅跳び

渡邊 維央(大石田中) 四位

・山形県高校駅伝競走大会男子・合同チーム

鈴木 祐樹(山形十中) 出場

柔道部

・山形県高等学校新人体育大会

【男子】団体 ベスト8

【男子】個人

全国夏樹(山形三中) ベスト8

・全国高等学校柔道選手権山形県予選大会

【男子】団体 出場

【男子】個人

花輪 東(山形五中) 三位

・全国高等学校柔道選手権東北地区大会

【男子】個人

花輪 東(山形五中) 出場

卓球部

・日本大学体育大会

【男子】団体 出場

【男子】個人

古頭 哲(山形九中) 出場

・山形県卓球選手権大会(一般の部)

【男子】シングルス

古頭 哲(山形九中) 出場

・山形県高等学校新人体育大会

【男子】団体 出場

【男子】個人シングルス

古頭 哲(山形九中) 出場

ボクシング部

・山形県高等学校新人体育大会

【男子】学校対抗 優勝

【男子】個人

ピン級

古沢 蓮音(中山中) 優勝

ライトフライ級

中谷丈一郎(山形六中) 優勝

ライフライ級

青山龍之伸(山形三中) 三位

バンタム級

村山 智秋(山形四中) 優勝

ライト級

小林 綾稀(山形三中) 二位

ライトウェルター級

加藤 大暉(山形四中) 三位

ウェルター級

朝倉 大馳(金井中) 優勝

【女子】

フライ級

石沢 里沙(山形七中) 優勝

ライト級

伊藤 希(山形四中) 優勝

・東北高等学校新人体育大会

【男子】学校対抗

優勝

【男子】一部

ピン級

古沢 蓮音(中山中) 優勝

ライトフライ級

中谷丈一郎(山形六中) 優勝

バンタム級

村山 智秋(山形四中) 三位

ウェルター級

朝倉 大馳(金井中) 三位

【男子】二部

ピン級

長橋 遼(山形六中) 二位

ライトフライ級

安孫子健琉(橋) 中

フライ級

齋藤 誉一(楢岡中) 三位

【女子】学校対抗

ソフトテニス部

・山形県高等学校新人体育大会

【男子】団体 ベスト16

【男子】個人

瀬野 来琉・大津 翔太 出場

小関 悠叶・作田 結大 出場

五十嵐悠登・堀 太翔 出場

【女子】団体

五十嵐悠登・堀 太翔 出場

【女子】個人

川崎 友結・菅野 更紗 出場

村形 胡桃・渡邊 英恵 出場

・東北私立高等学校男女バレーボール選手権大会

ベスト4

・全国私立高等学校バレーボール選手権大会

出場

・山形県高等学校スキー大会

【男子】アルペン

大回転

松浦晴尚朗(日出学園中) 優勝

新井 蔵人(西果鴨中) 二位

清野 冬真(鶴岡市朝中) 三位

藤田 舜輝(大淵中) 五位

藤田 舜輝(大淵中) 六位

設楽優太郎(米沢六中) 八位

星 佑弥(猪苗代中) 九位

回転

松浦晴尚朗(日出学園中) 優勝

設楽優太郎(米沢六中) 二位

藤田 舜輝(大淵中) 三位

清野 冬真(鶴岡市朝中) 四位

藤田 舜輝(大淵中) 六位

新井 蔵人(西果鴨中) 七位

遠藤 伊織(鶴岡市朝中) 一位

【女子】アルペン

大回転

クニエーリ(白馬中) 優勝

遠藤 妃莉(岩沼中) 二位

難波 優花(鶴岡市朝中) 三位

鈴口 真央(白川郷学園) 四位

五十嵐うた(鶴岡市朝中) 七位

森 理葉(下里中) 八位

坂田 結(南大谷中) 九位

男子バレーボール部

・日本大学体育大会

ベスト8

・全日本バレーボール高等学校選手権大会山形県代表決定戦

ベスト8

・山形県高等学校新人体育大会

ベスト16

五十嵐うた(鶴岡市朝中) 八位

阿部 桃(福原中) 七位

鈴口 真央(白川郷学園) 六位

坂田 結(南大谷中) 五位

難波 優花(鶴岡市朝中) 四位

森 理葉(下里中) 三位

坂田 結(南大谷中) 二位

難波 優花(鶴岡市朝中) 一位

新校長・新教頭あいさつ



「志高く未来を創る学びを！」

校長 花里 昌昭

保護者の皆さまをはじめ、関係各位におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この度、前校長の渡部正信先生の定年退職に伴い、後任として十九代校長に就任いたしました花里昌昭と申します。

近年、情報通信技術の急速な進化と普及に伴い、対面でのコミュニケーションの機会が減少し、働き方やライフスタイルまでもが大きく変わりました。教育現場においても、主体的・対話的で深い学びの視点から「どのように学ぶか」が



一人ひとりが輝く学校に

教頭 橋本 健志

この度、教頭に就任いたしました橋本健志です。生徒の皆さんと共に歩めることを心から嬉しく思います。学校・家庭・地域が手を取り合い、生徒の皆さんの健やかな成長を共に見守っていただけます。

生徒一人ひとりが輝

き、保護者の皆様が安心してお子様を託せる学校づくりを目指し、誠心誠意取り組んでまいります。至らぬ点も多々あるかと存じますが、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

学年主任あいさつ

「なりたい自分」を

目指して

第一学年主任 松浦 正治



入学して約三週間がたちました。

生活のリズムをつかみ、高校生活をスムーズにスタートできていることと思います。

人生には数多くの出会いと別れがあります。中学校を卒業して、この日本大学山形高等学校に入学したのはその出会いの一つ。

少し先の未来に思いを向けて、今、目の前にあることに全力で取り組みましょう。夢がある人はそれをかなえるために、まだ夢が見つかっていない人はそれが見つかった時にかなえられるように、高校と中学校の違いはオリエンテーションで担任の先生などからも聞いたと思います。君たちの頭脳・身体・感性はこの三年間で新たな成長を遂げることになるはずですが、学習・部活動・生徒会活動に精一杯取り組み、自分の可能性を広げ追究してほしいと願っています。

未来を拓く

「決断」の基盤

第二学年主任 園田 剛樹



二年生という時期は、進路への不安や日々の葛藤から「自分でできるだろうか」と、ついブレーキをかけてしまいがちです。しかし、昨年度末、皆さんに伝えたとおり、物事を決断する際に大切にしてもらいたいのは「できるかできないか」という能力の判定ではなく、「やるかやらないか」という意志の選択であるということです。

「できる」と確信してから動くのでは、自分の今の枠を越えることはできません。不確実な未来に対して「やる」と決め、一歩踏み出す。その決意こそが、今の自分を越えていき、夢に近づくことになるのではないのでしょうか。失敗を恐れず、自分の「やりたい」という直感を信じてみてください。その積み重ねが、皆さんの唯一無二の道を切り拓いていくはずですよ。

自立の春を

第三学年主任 伊藤 恵二



新入生指導日、高校の三年間は自立に向けて

た三年間とお話しして、早くも二年が経過しました。今年は総仕上げの年になります。「自分で考え、行動に移し、結果に対して責任が持てる。」この三点を満たしていることが、「自分の足で立っている」ことの基本になります。

三年生。進路を自分の納得できる形で考える。それを手にすることができる日々の生活を送る。そうすれば結果として出てくるものは、嬉しい成果として受け取ることができるようになります。自分自身で考え、行動に移し、成果を勝ち取る。そんな一年になるよう先生方も全力でバックアップしていきます。

ただ求めるのではなく、求め続ける。ただやるのではなく、やり続ける。継続こそが成長の鍵であることを今年も大切にして、喜びに満ちた門出の春に向けて舵を切りましょう。

新任教職員紹介



渡邊 元氣先生

①情報・数学

②運動

③自分が変われば世界が変わる



岡村 遥心さん

①事務室会計係

②料理・運動

③栄光に近道なし

異動・退職教員紹介

大変お世話になりました。ありがとうございました。

○異動

羽田 夏美先生(家庭)

日本大学藤沢高等学校・中学校へ

大澤 拓実先生(英語)

日本大学鶴ヶ丘高等学校へ

○退職

渡部 正信先生

(校長・国語)

林 充彦先生

(教頭・数学)

中村 寿一先生

(芸術)

千葉惣一郎先生

(英語)

なお、林先生は今年度からは数学科の講師として本校に勤務されています。

コミュニケーションの在り方
 小川 結栞 (山形三中)

今回のイギリスにあるケンブリッジ大学での一日間のイースタープログラムを通して、コミュニケーションについて改めて考える機会を得ました。最初は英語力への不安から発言をためらうこともありましたが、次第に大切なのは正確さだけでなく「伝えようとする意志」であると気づけました。多様な背景を持つ人々との交流を通して、言語や文化の違いを越えた相互理解の可能性を実感するとともに、全国から集った意識の高い日大の付属生とも親交を深め、かけがえない友人と出会えたことは自分にとって大きな産物です。

今回の留学で得た語学力や異文化理解、そして何事にも主体的に学ぶ姿勢を今後ともに活かしていきたいです。また、このような貴重な経験ができる機会がせつかくあるのだから、誰もが挑戦し、自らの可能性を広げて欲しいと感じました。

ケンブリッジ研修を終えて
 森山 諒星 (山形四中)

今回の研修を通して、学んだことや感じたことが多くありました。周りには知らない日大付属の生徒ばかりで、海外に行くのも初めてだったため、とても不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、カレッジに着いてからはPA(プログラムアシスタント。現地の学生)の



左から、鈴木さん、小川さん、森山くん

方々や先生方のサポートなどがあり、安心して二週間を過ごすことができました。英語が拙くても先生方やPAの方々が優しく接してくれたおかげで、楽しく英語で会話することができて良かったです。また、海外での価値観の違いも学ぶことができました。例えば、授業の中では書くことが多い日本に比べて、イギリスでは話すことを中心に進めていくなど、コミュニケーションを主体とする

私はイースタープログラムを通して、多くのことを学びました。最初は他校生の英語力の高さに驚き、自分の英語に自信が持てませんでした。しかし、自分なりに積極的に話すことを意識することで、少しずつコミュニケーションが取れるようになりました。初めての海外で不安もありましたが、PAさんが様々な企画を立ててくださり、楽しくイギリスの文化について知ることができました。また、現地の人が日本語で「ありがとう」と言ってくれたことがとても嬉しく、心に残っています。さらに、日本とは違い、授業では自分の意見を伝える機会が多く、自分から行動することの大切さを学び、これからの自信にもつながりました。

第二回ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ 付属高校生のイースター・プログラム
 三月三日(月)～四月九日(木)

今年も、日本大学の学術交流協定校であるケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジで、付属校各校から選ばれた生徒たちがプログラムに参加した。本校からも三名が選ばれ、充実した研修を行ってきた。

授業を大切にしています。この研修を通して主体性や協調性を学ぶことができ、私の人生の中でも良い経験になりました。

自分から積極的に行動
 鈴木 希 (山形三中)



九州修学旅行

修学旅行では、福岡・長崎を巡り、歴史と未来を全身で感じる五日間を過ごした。大刀洗平和記念館や長崎平和公園、原爆資料館では、戦争の記憶と平和の尊さに真正面から向き合い、一つひとつの資料を真剣な表情で見つめる姿が印象的であった。長崎市内での班別行動では、仲間と声を掛け合い支え合いながら主体的に行動し、絆をさらに深めた。また、ハウスステーションではSDGsについて学び、持続可能な社会の実現に向けて自分たちができることを真剣に考える機会となった。最終日の太宰府天満宮参拝まで全行程をやり遂げ、生徒たちは達成感と自信を胸に帰校した。情熱と感動、そして大きな成長に満ちた、実り豊かな修学旅行となった。



- 行程**
- 一日目…筑前町立大刀洗平和記念館
 - 二日目…平和公園・長崎原爆資料館・長崎市内班別自主研修・「新・観光丸」で巡る世界文化遺産構成資産トワイライトクルーズ
 - 三日目…ハウスステーション
 - 四日目…福岡クラス別研修
 - 五日目…太宰府天満宮

令和8年度 部活動体験会	
第1回 8月2日(日)	第2回 8月11日(火・祝)
本校生と一緒に、部活動を体験します。	

※部活動体験会、学校説明会ともに詳細は後日、本校ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

※上記以外の期日に学校参観を希望される方は、お電話の上ご来校ください。
(☎ 023-641-6631 担当/佐藤祐平・森谷英治)

令和8年度 学校説明会	
第1回 10月10日(土)	第2回 10月24日(土)
第3回 11月7日(土)	第4回 11月21日(土)
第5回 12月5日(土)	
全体説明会、特進コース説明会、個別相談、部活動見学などを実施予定です。	

令和7年度卒業生の進路状況について

進路指導主任 大江 和司



卒業生318名の進路状況は4年制大学218名(68.6%)、短期大学5名(1.6%)、専門学校57名(17.9%)、就職18名(5.7%)、その他20名(6.3%)であった。

特筆すべき点としては、日本大学(短期大学部を含む)に推薦・一般を合わせて延べ152名が合格、国公立大学は筑波大学といった難関大学をはじめ、山形大学や新潟大学などを中心に延べ41名が合格、他の私立大学も早稲田大学・慶応義塾大学・上智大学・東京理科大学などをはじめとする難関大学に多数合格したことが挙げられる。

令和7年度卒業生は、新たな学びの枠組みが浸透し、教育環境の変革がより一層加速する中で、自らの可能性を切り拓いてきた生徒たちであった。前年度までの手探りの状況を脱し、より高度な主体性と深い探究心が試される「真の実力」が問われる局面も多く、自己の進路と向き合う日々は、非常に密度が濃く、挑戦に満ちたものであったと推察される。

令和7年度 主な合格実績

※延べ人数
※()内の数字は、過年度生で内数
令和8年3月31日現在

日本大学・短期大学部 153(1)名

法学部	8名
文理学部	7名
経済学部	13名
商学部	12名
国際関係学部	9名
危機管理学部	3名
理工学部	18(1)名
生産工学部	25名
工学部	37名
松戸歯学部	3名

生物資源科学部	10名
薬学部	3名
法学部二部	4名
短大三島	1名

国公立大学・短期大学 45(4)名

北見工業大学 工	1名
弘前大学 人文社会科	1名
岩手大学 理工	1(1)名
秋田大学 国際資源	1名
総合環境理工	2名
山形大学 人文社会科	1名
教育	4名
理	2(1)名
工	9名
医(医)	1(1)名
医(看護)	1名
農	1名
社会共創デジタル学環	1名
福島大学 人文社会学群	1名
筑波大学 情報学群	1名
千葉大学 理	1(1)名
新潟大学 人文	1名
医(看護)	1名
農	1名
釧路公立大学 経済	1名
青森公立大学 経営経済	1名
東北公益文科大学 公益	6名
東北農林専門職大学 農林業経営	1名
福島県立医科大学 保健科(診療放射線)	1名
新潟県立大学 国際地域	1名
国際経済	1名
福知山公立大学 情報	1名

日本大学以外の 私立大学・短期大学 177(21)名

岩手医科大学	2名
東北医科薬科大学	1名
東北学院大学	18名
東北工業大学	7名
東北福祉大学	20名
宮城学院女子大学	2名
東北芸術工科大学	10名
東北文教大学	3名
国際医療福祉大学	1(1)名
青山学院大学	1名
北里大学	2(1)名
慶応義塾大学	1名
国土館大学	2名
順天堂大学	1名
専修大学	1名
大東文化大学	3名
玉川大学	1名
上智大学	1名
中央大学	2名
東京農業大学	2名
東京薬科大学	1名
東京理科大学	2名
東洋大学	3名
日本体育大学	1名
法政大学	2名
明治大学	3(1)名
明治薬科大学	1名
早稲田大学	1名
神奈川大学	4名
新潟医療福祉大学	16名
日本歯科大学(新潟)	1名
同志社大学	1名

仙台青葉学院短期大学	2名
等	

専門学校 58名

日本大学医学部附属看護専門学校	1名
山形市立病院済生館高等看護学院	4名
国立病院機構山形病院付属看護学校	2名
山形厚生看護学校	5名
山形医療技術専門学校	2名
山形歯科専門学校	1名
山形県立産業技術短期大学校	3名
山形県立山形職業能力開発専門学校	1名
山形調理師専門学校	1名
山形美容専門学校	2名
山形情報ITクリエイター専門学校	2名
大原ビジネス公務員専門学校山形校	6名
仙台医療・スポーツ専門学校	1名
仙台大原簿記情報公務員専門学校	1名
栃木県立衛生福祉大学校	1名
日本工学院専門学校	1名
文化服装学院	1名
等	

就職 23名

自衛官一般曹候補生	3名
自衛官候補生	3名
山形市役所	1名
山形県警察	2名
山形県警察行政職	1名
大石田町職員	1名
舟形町職員	1名
税務職員(東北)	1名
東北電化工業株式会社	1名
株式会社山形ミートランド	1名
等	

日本大学山形高等学校広報部
〒990-1243 山形市鳥居ヶ丘四一五五
電話 023-641-1663(代)
FAX 023-641-1663
URL https://www.yngc.hs.nihon-u.ac.jp
印刷 株式会社 印風

私は今年度初めての卒業生を送り出すことができました。今思い返せば、あつという間の三年間でも、進路指導をするのも、修学旅行に引率するのにもすべてが初めての経験でした。何をどうにかりて、たくさん先生に助けを借りて、なんとかここまで来ました。時には生徒が助けてくれることもありました。私は幼い頃から父の転勤の都合で引っ越しを何度も経験しました。友達と離れ離れになることも多々あったので、人との別れも慣れたことだなど勝手に思っていました。しかし、この学校に来てから出会った人たちの別れは今までの別れとは違って寂しく感じます。私はこの先も多くのお出合いを別れを経験すると思います。その中には再会できる人もいますが、二度と会えなくなってしまう人もいます。せよ、これから出会う人たちとの縁を大切にしたいです。生きていきたいと思いついて、私を支えてくださった人たちのために、これから私は私が支えていきたいと思いを込めて。

編集後記